

# 授業計画案

●指導と評価の計画（10時間）

時間	ねらい・学習活動・指導上の留意点	単元の評価規準	評価方法
1	<p>Before Reading, 本文第1, 2段落 【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導入となる音声とその内容に関する質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。</li> <li>視覚に関する錯覚が日常生活の多くの場面で使われていることを理解させる。</li> <li>錯視の1つの典型的な例であるアヒル・ウサギの絵を見て、2つの見方があることを実感させ、理解させる。</li> <li>錯視が歴史的に構造設計に組み込まれた例として挙げられた枯山水庭園で、どのような錯視が利用されているかを理解させる。</li> <li>Questionsを解かせ、本文の理解度を確認する。</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声を聞き取り、質問に答える。</li> <li>新出語句の確認をする。</li> <li>重要表現を確認する。</li> <li>重要文法事項を確認する。</li> <li>本文の内容および背景知識を学習し、音読や内容理解の問題を通して理解を深める。</li> </ul> <p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真やイラストなどを効果的に活用する。</li> <li>学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。</li> </ul>	<p>知識・技能 (L・R) (I・P・W)</p> <p>思考・判断・表現 (L・R) (I・P・W)</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 (L・R) (I・P・W)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単語連語小テスト</li> <li>パフォーマンス</li> <li>予習&amp;授業ノート</li> </ul>
2 3 4 5	<p>本文第3段落～本文第6段落【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代の建築の内装や、道路などにおいて、どんな錯視が利用されているかを読み取らせる。</li> <li>教科書 pp.21-23の写真や図を見て、そこに利用されている錯視を理解させる。</li> <li>錯視には制約があるものの、さらなる用途の可能性もあることを読み取らせる。</li> <li>Questionsを解かせ、本文の理解度を確認する。</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新出語句の確認をする。</li> <li>重要表現を確認する。</li> <li>重要文法事項を確認する。</li> <li>本文の内容および背景知識を学習し、音読や内容理解の問題を通して理解を深める。</li> </ul> <p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真やイラスト、音声などを効果的に活用する。</li> <li>学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。</li> </ul>	<p>知識・技能 (L・R) (I・P・W)</p> <p>思考・判断・表現 (L・R) (I・P・W)</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 (L・R) (I・P・W)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単語連語小テスト</li> <li>パフォーマンス</li> <li>予習&amp;授業ノート</li> </ul>

6	<p>Overview, Comprehension【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文の段落構成を理解させる。</li> <li>空所補充の問題を解かせ、段落ごとの内容を復習させる。</li> <li>本文に関する読解問題を解かせ、内容を復習する。</li> <li>Skill 6で学んだ「順序立てて述べる」方法を実際に使って問題を解かせる。</li> <li>答えを確認し、本文の理解度を確認する。</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文の段落構成を確認する。</li> <li>空所補充の問題に取り組みながら段落ごとの内容を復習する。</li> <li>本文に関する読解問題に取り組みながら内容を復習する。</li> </ul> <p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアワークで解答を確認する時間を設ける。</li> <li>Lesson 全体および各段落の要点を押さえているかを確認する。</li> </ul>	<p>知識・技能 (R)</p> <p>思考・判断・表現 (R)</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 (R)</p>	パフォーマンス
7	<p>Topic Task【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理解した錯視の種類をまとめさせる。</li> <li>さまざまな錯視の利用法を書かせる。</li> <li>3次元に見える横断歩道についての記事を読み、錯視の長所と短所についてまとめさせる。</li> <li>生徒自身の意見を書かせる。</li> <li>ペアで意見を共有させる。</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3次元に見える横断歩道についての記事を読み、情報を整理し、自身の意見を書く。</li> <li>ペアで意見を共有する。</li> </ul> <p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に意見を書かせる前に、記事の内容を確認する。</li> </ul>	<p>知識・技能 (I・P・W)</p> <p>思考・判断・表現 (L・R) (I・P・W)</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 (L・R) (I・P・W)</p>	パフォーマンス

授業計画案をテキストデータで収録しました。指導手順や留意事項を端的にまとめています。

特長

授業展開例

紙面紹介

関連教材

指導用Data

Digital